

### ごあいさつ



兵庫県医師会常任理事  
橋本 彰則

今年の6月に改正育児・介護休業法が成立し公布されました。小泉進次郎さんだけでなく、一般男性が育児休業を取りやすくなる制度と言われます。本人もしくは配偶者の妊娠・出産の申し出をした労働者に対して、雇用者が育児に関する制度を個別に説明し、育児休業の取得意向の有無を個別に確認することが義務付けられました。更に1,000人以上の事業所では、育児休業の取得状況を公表せねばなりません。育児休業に関する研修実施も国の求める措置の一つですが、雇用者には育児休業に関して、マタハラ、パタハラ、ジタハラ（時短ハラスメント）が生じない職場風土の醸成が求められます。

コロナ災禍での不寛容が、気がかりな今日この頃です。育児を社会全体で共有することの理解から、仕事に携わり生きていく上では、男女を問わず、世代を問わず、「情けは人のためならず」、他者への思いやりが重要であることの気づきになればと考えています。

### 女性医師の会入会案内

名称は「女性医師の会」ですが、男性医師の入会も歓迎致します。女性医師が働きやすい環境とは男性医師にとっても働きやすい環境ではありません。一緒に考えていきませんか。入会を希望される方は入会申込書を県医師会ホームページに掲載していますので、必要事項をご記入の上FAX（078-231-8114）またはメール（w-entry@hyogo.med.or.jp）でご送信下さい。

### イクボス大賞

兵庫県医師会では、男女とも仕事と生活の両立を達成できるよう、部下のワークライフバランス

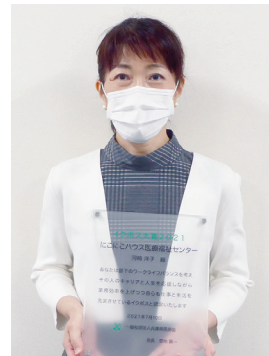
とキャリアの継続に配慮し、良好な職場環境の構築に貢献している上司、管理職をイクボスと呼び、令和3年7月10日に「イクボス大賞2021表彰式並びに受賞者講演」を行いました。

#### ☆第4回イクボス大賞

社会福祉法人芳友 にこにこハウス医療福祉センター  
施設長 川崎洋子先生

#### <選考理由>

院内保育や病児保育の整備・子の小学校入学時期における就業時間短縮制度の整備・職場内クラブ活動の推進・院内レクリエーションへの職員家族の参加推進などに取り組まれている。またクラシックバレエを再開し、自身もプライベートタイムを楽しまれている。



#### <受賞の言葉>

この度、兵庫県医師会イクボス大賞2021の受賞を大変うれしく感謝しています。にこにこハウス医療福祉センターの取り組みを評価して下さいました空地医師会会長はじめ医師会の皆様方に心よりお礼を申し上げます。

当センターは2001年に開設した、重症心身障害児者や発達障害などの障害を抱える方々に医療と福祉サービスを提供している医療機関・福祉施設です。重症心身障害児者85名を入所（入院）としてお預かりして医療面と生活面のサポートを『家庭のようになるよう』という理念を掲げて担っています。そのためには職員がストレスなく働ける環境が必須であり、「職員は施設の宝である！」という思いで、働きやすい職場環境づくりに努めてきました。人生100年時代と言われ、60歳で定年して悠々自適とは行かない時代を迎えますが、核家族化により様々なサポートが希薄な時代です。職員が子育て、介護、自身の疾病を乗り越えながら70歳まで元気に働き続ける事ができる温かい職場づくりを目指し、今後は後進のイクボスの育成に務めて参ります。

☆第4回イクボス特別奨励賞  
西宮協立脳神経外科病院 麻酔科部長  
長谷川和彦先生

＜選考理由＞

育児中の常勤および非常勤麻酔科女性医師の働き方を十分に配慮されながら、夜間救急手術を含め多忙な勤務にバランスよく対応されている。



＜受賞の言葉＞

2021年度兵庫県医師会イクボス特別奨励賞を頂きましたこと、誠に有難く存じます。当院の辻雅夫院長から常勤・非常勤の育児中の女性医師が活躍出来るよう上手に采配しているという理由で推薦を頂きましたが、私は特別なことをしているつもりはなく、本当に私がこのような賞をいただいて良いのかと思う所であるのですが、その成果を世に広めていくように『奨励』頂きましたことを良い機会として、ますます努力していきたいと思います。

私が『イクボス』として評価されることがあるとすれば、育児中の医師は希望の時間内でのみ働けるように調整を行い、時間外や夜間緊急の麻酔症例は現在育児を行っていない医師で対応してきたことです。このように待遇が異なると勤務者間にいがみ合いが生じることも少なくありませんが、当院では夜間などに勤務した医師は翌日を休養日とし、その代わりに日勤帯を育児中医師がカバーして頂くというようにしたことでお互いWINWINの関係を築くことが出来ております。いろいろと実現にはハードルがありますが、今後も育児中の医師に頑張っていただく場を提供できればと思います。

講演会等での託児サービス

県医師会・郡市区医師会が主催の講演会等では、託児ルームの場所代やシッターの委託料を日本医師会に全額補助して頂けます。開催者は託児希望の有無をご確認の上、県医師会または郡市区医師会に申請して下さい。育児中の医師が十分に研修を継続できるよう、ご協力宜しくお願い致します。



女性医師支援窓口

出産・育児・介護・復職・転職・再研修・勤務環境・その他悩み事をお持ちでしたら、県医師会の先輩医師がご相談にのります。ご相談内容の情報は相談事業以外には使用せず、個人情報保護は厳守させて頂きます。ホームページに案内と申込用紙を掲載していますので、お気軽にご相談下さい。

●相談受付

電話：078-231-4114 月曜日と火曜日  
午前9:00～12:00

F A X：078-231-8114 随時受付

E-mail：office@hyogo-wdsupport.net 随時受付

面談：要予約

離・退職中の医師の再就業支援

離・退職されている医師で、復職を考えているがその前に再研修されたい方は、研修後は県内の医療機関に勤務することを条件に、約1ヶ月間の病院研修を無料で受けて頂けます。

ベビーシッター費用の一部負担

子どもの急な発熱や時間外勤務でベビーシッターを利用された際は、その費用を一部負担致します。条件等詳しくは県医師会にお問合せ下さい。

病院訪問

研修医・勤務医が多数おられる病院を訪問し、情報提供と研修医・勤務医の現状把握・意見の収集に努めています。現在はCOVID-19感染拡大防止の観点から訪問を中止していますが、可能になれば再開を考えていますので、ご協力をお願い致します。

兵庫県医師会男女共同参画推進委員会

大江与喜子 大石麻利子 大内佐智子 宮地 千尋  
宮本由紀子 木村 智子 林崎 緑 小林 成美  
上月 清司 奥窪 明子 後藤 倫子 岡田 祥敬  
山本 房子 奥田真珠美

担当役員

鈴木 克司 橋本 彰則 小野 一広 阪上 雅史  
相馬 葉子

〒651-8555

神戸市中央区磯上通6-1-11 兵庫県医師会内

電話 078-231-4114 FAX 078-231-8114